2026年２月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年10月14日

上場会社名　　ベースフード株式会社　　上場取引所 東
コード番号　　2936　　ＵＲＬ　https://basefood.co.jp/ir/
代表者　　（役職名）代表取締役　　（氏名）橋本　舜
問合せ先責任者　（役職名）COO　　（氏名）川南　圭一郎　　ＴＥＬ　03（6416）8905

半期報告書提出予定日　　2025年10月14日　　配当支払開始予定日　－
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：有　（機関投資家、アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．2026年２月期第２四半期（中間期）の業績（2025年３月１日～2025年８月31日）

（１）経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年２月期中間期	7,694	1.5	△53	－	△54	－	△48	－
2025年２月期中間期	7,579	△6.5	△477	－	△483	－	△506	－

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年２月期中間期	△0.90	－
2025年２月期中間期	△9.68	－

（注）潜在株式調整後１株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの、１株当たり中間純損失であるため、記載しておりません。

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年２月期中間期	3,849	1,015	26.4
2025年２月期	3,851	1,036	26.9

（参考）自己資本　2026年２月期中間期　1,015百万円　2025年２月期　1,036百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年２月期	－	0.00	－	0.00	0.00
2026年２月期	－	0.00			
2026年２月期（予想）			－	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2026年２月期の業績予想（2025年３月１日～2026年２月28日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益	
	百万円	%	百万円	%
通期	17,413	14.2	193	41.8

（注）１．直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
２．2026年2月期の業績予想については、「売上高」と「営業利益」のみ開示しております。

※　注記事項

（１）中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
②　①以外の会計方針の変更　：無
③　会計上の見積りの変更　：無
④　修正再表示　：無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年２月期中間期	54,675,400株	2025年２月期	54,351,300株
②　期末自己株式数	2026年２月期中間期	1,358,035株	2025年２月期	1,358,030株
③　期中平均株式数（中間期）	2026年２月期中間期	53,236,045株	2025年２月期中間期	52,315,808株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料Ｐ．３「１．経営成績等の概況（４）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

当社は、2025年10月14日に機関投資家、アナリスト向けの会社説明会を開催する予定です。この説明会で使用する資料については、TDnetで開示するとともに、当社ウェブページに掲載いたします。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 3
（３）当中間期のキャッシュ・フローの概況 …… 3
（４）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間貸借対照表 …… 4
（２）中間損益計算書 …… 5
（３）中間キャッシュ・フロー計算書 …… 6
（４）中間財務諸表に関する注記事項 …… 7
（セグメント情報等の注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当社は、「主食をイノベーションし、健康をあたりまえに。」というミッションを掲げ、“栄養のインフラ”としてのBASE FOOD®を目指しております。

ミッションの実現に向け、研究開発活動を通じて完全栄養（注１）の主食を中心としたBASE FOOD®シリーズの開発および改善を行い、それらを主に３つのチャネル（卸などを介さず顧客に直接販売を行う「自社EC」、他社ECプラットフォームでの販売を行う「他社EC」、コンビニエンスストアやドラッグストアなどで販売を行う「卸販売」）で販売しております。積極的な研究開発活動を通じて商品の美味しさを追求し、新商品のリリースや商品リニューアルを通じて顧客層の拡大や継続率の向上を図り、成長を遂げてまいります。

当中間会計期間においては、新商品として2025年７月30日より「BASE BREAD® さつまいも」の販売を開始いたしました。本商品は人気No.１の「チョコレート」に次ぐ、定期購入者数No.２の人気商品となっております。また、2025年10月からは人気キャラクター「すみっコぐらし」とのコラボレーションキャンペーンを全チャネルで展開予定であるほか、９月24日には「BASE YAKISOBA トムヤムまぜそば」を発売、さらに新シリーズ「BASE RAMEN」の発売も控えており、「かんたん・おいしい・からだにいい」食事のラインナップおよびクオリティを高め、より豊かな食体験の機会を提供することで、「健康をあたりまえに」の実現を加速させるR&D活動を進めております。

全体としては、販促施策の谷間にあたる時期に季節要因（記録的猛暑やお盆休暇等）が重なり、売上高は低調に推移しました。一方で、継続的な原価削減施策による売上総利益率の改善と機動的な固定費の管理により、第２四半期会計期間の営業利益は黒字化を達成いたしました。

自社ECにおいては、第１四半期の積極的なユーザー獲得の反動もあり、第２四半期のユーザー数は一時的に減少いたしました。加えて、原材料高騰による一部商品の終売や猛暑による定期注文のスキップ等も重なり、主要KPIが落ち込みました。その結果、自社EC売上高は5,125,880千円で着地いたしました。一方、足元は新商品効果で改善傾向にあり、第３四半期以降で回復を目指します。なお、サブスクリプション会員数の推移は以下のとおりとなっております。

	2025年 ２月期 第１四半期	2025年 ２月期 第２四半期	2025年 ２月期 第３四半期	2025年 ２月期 第４四半期	2026年 ２月期 第１四半期	2026年 ２月期 第２四半期
サブスクリプション 会員数の推移（万人） （注２）	21.7	22.4	22.3	21.7	23.2	22.9

（注２）各四半期末時点

卸販売においては、季節要因の影響を顕著に受けやすい特性に加え、新規導入から一定期間を経て定番採用フェーズに移行するなかで、棚位置の変更や什器設置の有無によって店頭での視認性が低下しやすくなった結果、卸販売売上高は1,957,454千円となりました。なお、展開店舗数および店舗あたり売上高の推移は以下のとおりとなっております。

	2025年 ２月期 第１四半期	2025年 ２月期 第２四半期	2025年 ２月期 第３四半期	2025年 ２月期 第４四半期	2026年 ２月期 第１四半期	2026年 ２月期 第２四半期
展開店舗数の推移（店舗） （注３）	50,808	50,530	51,676	50,717	50,113	49,098
店舗あたり売上高（注４）	6,950	7,630	7,190	7,175	6,590	6,400

（注３）各四半期末時点

（注４）当該四半期の平均。１店舗あたりの月間売上 = リテールチャネル（卸販売）全体の月間売上/展開店舗数

他社ECにおいては、特段大きな販促施策は無く、季節要因が重なったことなどから、売上高は471,967千円となりました。

海外事業においては、東アジアにリソースを集中する方針のもと、販売中の全地域で増収となりました。特に香港では、現地大手コンビニエンスストアであるセブン-イレブンでの導入店舗数が500店舗まで拡大するなど順調に進捗しております。その結果、海外事業全体の売上高は120,174千円と大幅な増収を達成いたしました。

以上の結果、当中間会計期間の売上高は7,694,889千円（前年同期比1.5%増）、営業損失は53,052千円（前年同期の営業損失は477,316千円）、経常損失は54,739千円（前年同期の経常損失は483,500千円）、中間純損失は

48,147千円（前年同期の中間純損失は506,531千円）となりました。

なお、当社の報告セグメントにおける「完全栄養食事業」の比率が極めて高く、上記の事業全体に係る記載内容と概ね同一と考えられるため、セグメントごとの記載は省略しております。

（注１）１食分（BASE BREADは２袋、BASE Cookiesは４袋、BASE YAKISOBAは２個、BASE RAMENは２個、BASE Pancake Mixは１袋と卵Mサイズ１つ、牛乳(成分無調整)100mlを使用して調理した場合）で、栄養素等表示基準値に基づき、脂質・飽和脂肪酸・炭水化物・ナトリウム以外のすべての栄養素で１日分の基準値の1/3以上を含む。

（２）当中間期の財政状態の概況

（資産）

当中間会計期間末における総資産は3,849,651千円となり、前事業年度末に比べ1,658千円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が260,427千円減少した一方で、需要動向に応じた生産の拡大に伴い、商品が95,149千円、未収入金が31,234千円、有形固定資産が20,201千円及びオフィスビル賃借に伴い差入保証金が55,408千円増加したことによるものであります。

（負債）

当中間会計期間末における負債は2,834,077千円となり、前事業年度末に比べ19,626千円増加いたしました。これは主に、広告宣伝活動による未払金が215,091千円増加した一方で、法人税の納付により未払法人税等が66,043千円、借入金の返済により長期借入金が83,328千円減少したことによるものであります。

（純資産）

当中間会計期間末における純資産は1,015,574千円となり、前事業年度末に比べ21,284千円減少いたしました。これは主に、新株予約権の行使により資本金が13,472千円、資本準備金が13,425千円増加した一方で、中間純損失の計上により利益剰余金が48,147千円減少したことによるものであります。

（３）当中間期のキャッシュ・フローの概況

当中間会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、1,722,740千円となり、前事業年度末に比べ260,427千円減少いたしました。

当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、使用した資金は102,178千円（前年同期は455,482千円の使用）となりました。これは主に、税引前中間純損失54,739千円、棚卸資産の増加額88,531千円、未払金の増加額213,666千円、及び法人税等の支払額43,152千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は101,095千円（前年同期は98,621千円の使用）となりました。これは主に、オフィスビル賃借に伴う差入保証金の差入による支出55,408千円、有形固定資産の取得による支出42,249千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は57,152千円（前年同期は942,679千円の獲得）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出83,328千円、新株予約権の行使による株式の発行による収入26,865千円によるものであります。

（４）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年４月14日に「2025年２月期 決算短信」で発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

２．中間財務諸表及び主な注記

（１）中間貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （2025年２月28日）	当中間会計期間 （2025年８月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,983,167	1,722,740
売掛金	775,373	788,735
商品	190,757	285,907
原材料及び貯蔵品	39,192	32,574
未収入金	149,722	180,956
前払費用	115,148	134,000
その他	21,338	52,488
流動資産合計	3,274,701	3,197,404
固定資産		
有形固定資産	168,712	188,914
無形固定資産	4,522	7,591
投資その他の資産	403,373	455,741
固定資産合計	576,608	652,247
資産合計	3,851,309	3,849,651
負債の部		
流動負債		
買掛金	545,131	563,750
短期借入金	400,000	400,000
１年内返済予定の長期借入金	166,656	166,656
未払金	651,111	866,202
リース債務	1,384	1,402
未払費用	161,759	145,191
未払法人税等	69,324	3,281
預り金	51,374	71,141
賞与引当金	22,555	－
ポイント引当金	12,749	12,549
契約負債	375,492	380,959
その他	80,574	30,606
流動負債合計	2,538,115	2,641,742
固定負債		
長期借入金	236,128	152,800
リース債務	5,520	4,814
資産除去債務	34,687	34,720
固定負債合計	276,336	192,335
負債合計	2,814,451	2,834,077
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,174,857	23,472
資本剰余金	2,112,839	1,067,552
利益剰余金	△2,223,569	△48,147
自己株式	△27,583	△27,585
株主資本合計	1,036,543	1,015,292
新株予約権	315	281
純資産合計	1,036,858	1,015,574
負債純資産合計	3,851,309	3,849,651

（２）中間損益計算書

（単位：千円）

	前中間会計期間 （自　2024年３月１日 至　2024年８月31日）	当中間会計期間 （自　2025年３月１日 至　2025年８月31日）
売上高	7,579,531	7,694,889
売上原価	3,538,307	3,319,675
売上総利益	4,041,224	4,375,213
販売費及び一般管理費	4,518,540	4,428,266
営業損失（△）	△477,316	△53,052
営業外収益		
受取利息	216	2,345
受取補填金	1,736	1,413
為替差益	1,185	－
補助金収入	－	1,603
その他	1,704	2,458
営業外収益合計	4,843	7,821
営業外費用		
支払利息	10,130	9,019
支払保証料	420	171
為替差損	－	316
その他	476	0
営業外費用合計	11,027	9,507
経常損失（△）	△483,500	△54,739
特別利益		
固定資産売却益	171	－
特別利益合計	171	－
税引前中間純損失（△）	△483,329	△54,739
法人税、住民税及び事業税	3,281	4,942
法人税等調整額	19,920	△11,534
法人税等合計	23,201	△6,591
中間純損失（△）	△506,531	△48,147

（３）中間キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間会計期間 （自　2024年３月１日 至　2024年８月31日）	当中間会計期間 （自　2025年３月１日 至　2025年８月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純損失（△）	△483,329	△54,739
減価償却費	29,057	30,534
ポイント引当金の増減額（△は減少）	224	△200
受取利息	△216	△2,345
支払利息	10,130	19,641
固定資産売却益	△171	－
売上債権の増減額（△は増加）	△83,197	△13,361
棚卸資産の増減額（△は増加）	22,193	△88,531
仕入債務の増減額（△は減少）	24,675	18,619
未払金の増減額（△は減少）	116,127	213,666
未払費用の増減額（△は減少）	32,542	△16,567
契約負債の増減額（△は減少）	34,441	5,467
賞与引当金の増減額（△は減少）	－	△22,555
その他	△143,793	△130,553
小計	△441,316	△40,926
利息の受取額	216	2,345
利息の支払額	△12,099	△20,444
法人税等の支払額	△2,283	△43,152
営業活動によるキャッシュ・フロー	△455,482	△102,178
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△68,041	△42,249
有形固定資産の売却による収入	171	－
無形固定資産の取得による支出	△538	△3,437
差入保証金の差入による支出	△94,680	△55,408
差入保証金の回収による収入	69,968	－
資産除去債務の履行による支出	△5,500	－
投資活動によるキャッシュ・フロー	△98,621	△101,095
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	400,000	－
長期借入れによる収入	500,000	－
長期借入金の返済による支出	△13,888	△83,328
新株予約権の行使による株式の発行による収入	57,237	26,865
自己株式の取得による支出	－	△2
リース債務の返済による支出	△670	△688
財務活動によるキャッシュ・フロー	942,679	△57,152
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	388,575	△260,427
現金及び現金同等物の期首残高	1,430,928	1,983,167
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,819,503	1,722,740

（４）中間財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間会計期間（自　2024年３月１日　至　2024年８月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント 完全栄養食事業	その他 （注）１	合計	調整額 （注）３	中間 損益計算書 計上額 （注）２
売上高					
外部顧客への売上高	7,579,438	93	7,579,531	－	7,579,531
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	7,579,438	93	7,579,531	－	7,579,531
セグメント損失（△）	△419,491	△11	△419,502	△57,813	△477,316

（注）１．「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

２．セグメント損失（△）は、中間損益計算書の営業損失と一致しております。

３．調整額は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費になります。

Ⅱ　当中間会計期間（自　2025年３月１日　至　2025年８月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント 完全栄養食事業	その他 （注）１	合計	調整額 （注）３	中間 損益計算書 計上額 （注）２
売上高					
外部顧客への売上高	7,675,477	19,412	7,694,889	－	7,694,889
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	7,675,477	19,412	7,694,889	－	7,694,889
セグメント損失（△）	△28,131	9,590	△18,540	△34,511	△53,052

（注）１．「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

２．セグメント損失（△）は、中間損益計算書の営業損失と一致しております。

３．調整額は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費になります。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2025年５月28日開催の定時株主総会決議に基づき、2025年７月１日付で減資の効力が発生いたしました。これにより、資本金が1,164,857千円、資本準備金が1,585,233千円それぞれ減少し、この減少額全額をその他資本剰余金へ振り替えております。また、減資の効力発生を条件に、その他資本剰余金2,223,569千円を繰越利益剰余金へ振り替えることにより、欠損填補に充当しております。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。